

おやま 市議会だより



第299号

●主な内容

令和2年度一般会計補正予算を可決 令和元年度全特別会計決算を認定

議案とその内容……………②	委員会報告……………④～⑦
人事案件……………②	市政一般質問……………⑧～⑩
審議結果……………③	議会日誌等……………⑩
陳情……………④	次回定例会の予定……………⑩
議員提出議案……………④	

令和2年11月1日号



夕暮れ時の思川堤防（撮影：Photo Art きらら 大島 玲子 氏）

小山市議会

編集 議会広報委員会

9月

定例会のあらまし

令和2年9月3日～30日

令和2年第4回(9月)定例会は、9月3日～9月30日まで28日間の会期で開かれまし
た。

本定例会では、令和2年度一般会計補正予算案をはじめ、令和元年度全会計決算の認定案、条例の一部改正案および人事案件などについて審議しました。

9月3日、市長から所信表明および市政一般・近況について報告がありました。続いて議案35件、報告5件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件2件を即決しました。

9月7日および8日は、5会派および4人の議員が市政に対して一般質問を行いました。8日は、上程議案に対する質疑の後、議案および陳情の各委員会への付託を行いました。これを受けて、9月14日～18日に各委員会がそれぞれ開かれ、審査を行いました。

9月30日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案32件を可決・認定、1件を継続審査、陳情2件を不採択としました。さらに、市長提出議案2件および議員提出議案1件が上程され、これらも可決し、定例会を閉会しました。

主な議案

9月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆令和2年度小山市一般会計補正予算(第3号)―歳入歳出それぞれ6億3791万1千円の増額補正。地方創生推進交付金事業費、放課後児童健全育成事業委託料、民間保育施設感染症対策事業費、インフルエンザ予防接種費、桜堤整備事業費、小学校および中学校修学旅行行程変更等に係る支援助事業費など。補正後の予算総額は、871億4160万2千円。

◆小山市奨学金等貸与条例の一部改正について―おやまふるさとみらい奨学金の対象外となつている高等専門学校について、高等専門学校第4学年以上の者を新たに対象要件に加えるとともに、本奨学金の貸与を受け卒業した者に関する、ボランティアへの参加の努力義務期間を定めることに伴い、所要の改正をするため提案するもの。

◆財産の貸付について―テレビ小山放送株式会社へ貸し付けてきた小山市所有のコミュニティFM放送運営事業用財

産が、令和2年10月31日をもって契約満了となることから、11月1日から引き続き無償で貸し付けることについて、地方自治法第96条第1項第6号および同法第237条第2項の規定により、議会の議決を求めるため提案するもの。

人事案件

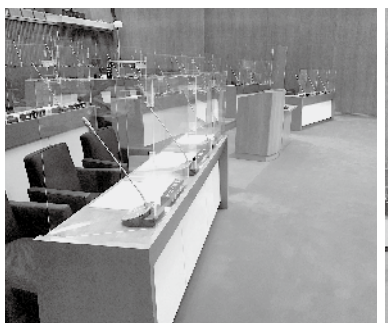
◆副市長の選任について
小山市東間々田3丁目
雲井 富雄(新任)
昭和33年1月23日生



所信表明を行う浅野市長



あいさつする雲井副市長



9月定例会より飛沫防止対策の仕切りを設置



◆固定資産評価審査委員会員の選任について
小山市犬塚5丁目
北山 友美(再任)
昭和27年2月5日生

◆固定資産評価員の選任について
小山市東間々田3丁目
雲井 富雄(新任)
昭和33年1月23日生

◆教育委員会教育長の任命について
小山市大字間々田
濱口 隆晴(新任)
昭和28年4月8日生

令和2年第4回定例会（9月）審議結果

議決結果

議案番号	議案名	議決結果	
予 算			
議案第56号	令和2年度小山市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致
決 算			
議案第57号	令和元年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	全会一致
議案第58号	令和元年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第59号	令和元年度小山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第60号	令和元年度小山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第61号	令和元年度小山市病院事業債管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第62号	令和元年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第63号	令和元年度小山市栃木県南地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第64号	令和元年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第65号	令和元年度小山市小山東部第二工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第66号	令和元年度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第67号	令和元年度小山市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第68号	令和元年度小山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	全会一致
議案第69号	令和元年度小山市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	全会一致
条 例			
議案第70号	小山市税条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第71号	小山市都市計画税条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第72号	小山市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第73号	小山市介護保険条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第74号	小山市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第75号	小山市手数料条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第76号	小山市奨学金等貸与条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第77号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
その他の議案			
議案第78号	財産の貸付けについて	原案可決	全会一致
議案第79号	財産の貸付けについて	原案可決	全会一致
議案第80号	損害賠償額の決定について	原案可決	全会一致
議案第81号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第82号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議案第83号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議案第84号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議案第85号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第86号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第87号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第88号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第89号	副市長の選任について	原案同意	全会一致
議案第90号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全会一致
議案第91号	固定資産評価員の選任について	原案同意	全会一致
議案第92号	教育委員会教育長の任命について	原案同意	全会一致
議員提出議案			
議第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案の提出について	原案可決	全会一致
陳 情			
陳情第2-2号	日本政府及び国会に対し、「日米地位協定の抜本的見直しを求める」よう意見書提出を要請する陳情書	不採択	賛成少数
陳情第2-3号	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情書	不採択	賛成少数

賛否一覧表（起立採決）

議決結果	採 択	不 採 択	片山 照美	細野 大樹	大平 拓史	平野 正敏	渡邊 一郎	渡辺 一男	嶋田 積男	高橋 栄	土方 美代	佐藤 忠博	岡田 裕	橋本 守行	小林 英恵	森田 晃吉	苅部 勉	植村 一	大木 英憲	福田 幸平	荒井 覚	篠崎 佳之	福田 洋一	荒川美代子	山野井 孝	大出 ハマ	安藤 良子	小川 亘	青木美智子	関 良平	塚原 俊夫	石島 政己	
陳 情																																	
陳情第2-2号	不採択	1 : 27	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情第2-3号	不採択	2 : 26	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○	×	×	

※ ○=採択 ×=不採択 欠=欠席
 ※ 議長（福田 洋一）は採決に加わりません。

陳情

9月定例会では、新たに受理した陳情1件および閉会中の継続審査となっていた陳情1件について審議しました。その結果、いずれも不採択と決しました。(審査の経過については「委員会審査から」をご覧ください)

新たに受理したもの

陳情1件

●国の責任による「20人学級」を要望した少人数学級の前進を求める陳情書

〔提出者〕

新日本婦人の会小山支部

支部長 小杉 芙蓉

〔趣旨〕現在のコロナ禍において、20人学級を要望した少人数学級の前進は、多くの保護者、教職員および地域住民の強い願いです。それに応えて自治体独自の少人数学級は確実に前進しています。しかし、国の責任による施策ではないため、自治体間の格差が広がっているという厳しい現状もあります。教育の機会均等を保障するためには、地方に負担を押し付けることなく、国が責任を持って少人数学級

の前進とそのため教職員定数改善を行うことが重要で、そのために国に対して、教職員数の増加と教室の確保を行い、子供たちのいのちと健康を守り成長と発達を保障するため緊急に20人程度で授業ができるようにすること、および、関係法令を改正し教職員定数改善計画を立て、20人学級を要望した少人数学級の実現を求めるもの。

▽審議結果 不採択

継続審査に付されていたもの

陳情1件

●日本政府及び国会に対し、「日米地位協定の抜本的見直しを求める」よう意見書提出を要請する陳情書

▽審議結果 不採択

議員提出議案

定例会最終日、渡辺一男議員ほか4名から「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案」が提出され、審議の結果、原案通り可決し、内閣総理大臣ほか関係大臣等に送付しました。

◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書―新型コロナウイルス感染症の影響により、地方自治体では喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ厳しい状況に陥ることが予想されることから、国に対し次の事項を強く要望する。(抜粋) ①地方の安定的な財政運営に必要な地方税等の一般財源総額を確保するこ

と。②地方交付税については引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。③思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても地方消費税を含め弾力的に対応すること。④税源の偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系の構築に努めること。⑤固定資産税について、制度の根幹に影響する見直しは断じて行わないこと。

委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会では慎重な審査を経ています。9月定例会の委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

総務



▼小山市税条例の一部改正について

問 イベントチケット等の払い戻し請求権の放棄に対する寄付金税額控除の特例について、市民への周知方法と事実確認の方法は。

答 市民への周知方法は、小山市ホームページ等でお知らせする予定です。事実確認に

▼小山市都市計画税条例の一部改正について

問 浸水被害軽減地区の指定を受けた土地に係る都市計画税の課税標準の特例対象になる件数と減免額は。

答 輪中堤や自然堤防などが特例の対象となりますが、現在、小山市には該当する地区はありません。

▼小山市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

問 市長等の給与減額措置はいつから行われているか。

答 市長の給与減額措置は平成12年10月から、副市長および教育長の給与減額措置は平成14年1月から実施しています。

▼特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

問 今回の改正はどのような背景によるものか。

答 令和2年7月執行の市長選挙において、小山東出張所の期日前投票所開設時間を20時までとしたこと等に伴い、長時間従事できる投票管理者を確保できない場合が想定されるため、交代制を可能とし、従事時間に応じた報酬を支給することとしました。

▼財産の貸付けについて(コミュニティFM放送運営事業用財産)

問 貸し付けた備品や設備の修理費用等の負担は。

答 機器の修理費については、少額であればオーラジ運営者であるテレビ小山放送株式会社が、高額であれば小山市が負担することになっています。

▼財産の貸付けについて（ロプレビルの小山市保有部分）

問 貸付金額について経営改善までは無償とあるが、経営改善と見なす具体的な条件は。

答 ロプレビルの小山市所有部分の貸付先である小山都市開発株式会社は令和元年度決算は黒字ですが、これは小山市が賃料を徴収していないためであり、徴収した場合は赤字となります。賃料を徴収しても黒字を確保できるようにすれば経営改善とみなします。



ロプレビル

▼財産の取得について（大型天板デスク）

問 納入期限が令和3年3月31日とされているが、新庁舎の開庁に間に合うか。

答 新庁舎は令和3年3月12日に引き渡される予定で、3月31日を作り付け什器の工事の期限としています。実際の移転については、5月の連休明けまでの開庁を目指し、関係部署と協議・検討しているため、3月31日の納入期限で開庁に間に合うものと考えています。



新庁舎の完成イメージ



新庁舎建設の様子

▼建設工事請負契約の締結について（豊田中学区新設小一貫校小学校校舎等建設工事）

問 着工はいつ頃の予定か。

答 令和2年10月1日着工予定です。

総務（陳情）

▼日本政府及び国会に対し、「日米地位協定の抜本的見直しを求める」よう意見書提出を要請する陳情

意見 新内閣が発足したばかりであり、まずはその外交政策がどのようなものか様子を見るべきであるため、不採択としたい。

意見 外交や国防については国の専権事項であり、国に責任を持って対応してもらいたいため、不採択としたい。

意見 日米地位協定の改善は必要だが、これは国家間の問題であり、東アジアの安定にも関わる問題である。また日本の刑事司法制度の不備にも問題があり、もう少し機が熟すのを待つべきであるので不採択としたい。

意見 全国知事会が提言をしている点を捉え、地方からもしっかりと声を上げ、地方の一議会としての考えを示すべきと考えるため、採択とした。

民生



▼令和元年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について

問 国民健康保険納税通知書のユニバーサルデザイン化について、その効果は。

答 納税通知書をユニバーサルデザイン化することで、導入前には700件程度あった問い合わせが400件程度に減り、市民からも、わかりやすい内容になったとの声をいただいています。

▼令和元年度小山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

問 今後、要介護認定者が増加し、介護事業の運営がより厳しい状況になると想定されるが、市の考えは。

答 従来から取り組んでいる介護予防および重症化防止に ついて、より力を入れていくとともに、公的サービスだけでなく互助力を高め、地域で支え合うための生活支援体制整備にも取り組んでいく考えです。

▼令和元年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 合葬式墓地の使用状況は。

答 令和元年度末で、埋葬可能な1800体分のうち、898体の使用を許可しています。

▼小山市手数料条例の一部改正について

問 本条例改正の趣旨は。

答 マイナンバーカードの普及促進を目的の一つとしたデジタル手続法の施行により、通知カードの新規発行を取りやめることから本条例に所要の改正を行うものです。今後は、通知カードの代わりに個人番号通知書を発行することとなり、住所・氏名等の変更があった際に行っていた通知カードの記載内容の変更も不要となるものです。

▼指定管理者の指定について（大谷東小学児童保育館）

問 今回の募集方法は。

答 市内で児童保育の実績がある団体への募集要項の配布や、市ホームページでの周知を行うとともに、説明会を開催したうえで募集を行った結果、市外の1団体から応募がありました。

教育経済



▼令和元年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 施設管理費における水位計交換工事の内容は。

答 排水機場の運転操作は正確な水位を確認しながら行う必要があります、水位計に誤差が生じていたため交換および修繕工事を行いました。

問 各排水機場の管理体制について伺う。

答 各排水機場とも運転操作および維持管理を思川西部地区改良区に委託しており、荒川排水機場については5名、塩沢排水機場は3名で対応しています。また、与良川第一排水機場および与良川第二排水機場については各々1名で対応しており、その他に思川西部土地改良区の役員が常時サポートをしています。



与良川排水機場
(奥:第一排水機場、手前:第二排水機場)

▼令和元年度小山市小山東部第二工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 小山東部第二工業団地における契約状況は。

答 全9区画中、4区画が契約済みのため残りは5区画となります。

▼令和元年度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 今後の事業スケジュールは。

答 令和4年度まで造成事業を行い、令和5年度から分譲を開始する予定です。なお、令和2年度末から予約分譲を開始したいと考えています。

▼小山市奨学金等貸与条例の一部改正について

問 おやまふるさとみらい奨学金の利用実績は。

答 平成28年の制度開始から5年間で14名の利用がありました。なお、毎年10名程度の募集をしています。利用実績が伸び悩んでいるため、今後も普及啓発に取り組んでいきたいと考えています。

問 みらい奨学金の返還免除のための条件のひとつである、ボランティア活動への参加について、参加の回数等、一定の基準を設けることはできないか。

答 ボランティアは強制するものではないという性質上、明確な基準を設けることは難しい面がありますが、今後、他市の状況も勘案しながら検討していきます。

▼財産の取得について(タブレット充電保管庫)

問 今回購入するタブレット充電保管庫の性能および今後の整備予定は。

答 性能については、1台で44台のタブレットの保管・充電ができるものです。整備予定については、今回120台を購入し、今後218台をリース契約で導入していく予定のため、合計で338台の充電保管庫が整備されることとなります。

教育経済(陳情)

▼国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情書

意見 教員数や教室の確保等の課題はあるが、少人数学級

にすることで、教員の時間外労働の減少、不登校の児童生徒等へのきめ細かい対応の実施、児童生徒間でのいじめの発生の抑止等のメリットが考えられる。今回提出された陳情は、文部科学省においても取り組みを開始した少人数学級の推進を求めるものであるため、採択としたい。

意見 少人数学級に向けた取り組みについては、本来国が進めるべきものである。今回提出された陳情は、国が責任をもつて20人学級を展望した取り組みを行うよう要請する意見書を国に提出願いたいという趣旨であるため、採択としたい。

意見 少人数学級は児童生徒にとつて良い面もあるが、社会性などを育むためにはある程度の人数で切磋琢磨していくことも大切だと思ふ。まずは少人数学級のメリット・デメリットをよく検討していく必要があると考えるため、本陳情については不採択とした。

意見 新型コロナウイルス感染症防止や、ゆとりある教育の実現という観点からするとメリットはあると思ふが、教職員員の増員や学級数の増加が必

要になることを考えると、現実的ではないと思われるため、本陳情については不採択としたい。

意見 将来を見据えることよいことだと思ふが、小山市の現状を考えると実現は難しいと思われるため、本陳情については不採択としたい。

建設水道



▼令和元年度小山市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 公共用地先行取得事業特別会計の市債残高は。

答 本特別会計の市債残高は、4008万円です。

▼令和元年度小山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

問 水道料金の支払いにラインペイを導入した理由、およびほかのキャッシュレス決済導入の考えは。

答 水道料金の支払いについては、ラインペイ導入以前にコンビニ収納の取りまとめを行っているSMBCFラインサービスが取り扱っているキャッシュレス決済がラインペイであったため、今年か

ら導入しました。なお、来年度からはラインペイ以外のキヤッシュレス決済も拡大して導入できるよう検討してまいります。

問 石綿管布設替えの進捗状況は。

答 平成20年代まで実施していた石綿管更新事業の完了により、台帳上で管理している石綿管はありません。

▼令和元年度小山市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

問 公共下水道事業および農業集落排水事業が、特別会計から企業会計に移行したことによる効果は。

答 決算報告書に加え財務諸表を作成し、損益計算書による純利益の有無や貸借対照表による資産状況など、下水道事業の財政状況を明らかにすることができました。この決算の数値等を参考に、今後10年間の財務計画となる下水道経営戦略を策定する予定です。

問 下水道事業が企業会計に移行し独立採算が求められるが、将来の事業運営についての考えは。

答 企業債残高のピークは平成20年度の約370億円で、これまでに約60億円を削減しました。一般会計繰入金に頼らざるを得ない厳しい財政状況にあるため、下水道経営戦略策定の際には、下水道使用料の改定なども視野に検討していきたいと考えています。

予算審査



▼令和2年度小山市一般会計補正予算(第3号)

問 債務負担行為補正の移住定住促進首都圏PR業務委託の事業内容は。

答 本事業は東京圏の在住者・在勤者をターゲットとして、小山市の知名度アップと移住定住の促進を図るため、都営浅草線の車内にポスターを掲示するものです。

問 債務負担行為補正の市税等コールセンター運営業務委託の内容は。

答 本業務委託は、滞納となっている市税等のうち現年度分の占める割合が非常に高いことから、現年度分の市税等の納付案内をするものです。基本的には電話でのお知らせとなりますが、電話が不通の場合等は文書でお知らせします。

問 委託先の事業者はどのような範囲で納付案内をできる

のか。

答 市税等の滞納に係る納付催告は、法律により自治体の正職員である徴税吏員にしかできないこととされています。そのため委託先のコールセンターでは、未納額を伝えるお知らせにとどまります。

問 移住定住女子力小山の魅力発信事業の事業内容は。

答 本事業は、小山市に移住して小山の魅力を感じ、自身で事業を起したり、情報発信をしている女性を中心とした(仮称)「小山の魅力発信チーム」を発足させ、勉強会の開催や市内事業者等と連携した情報発信を行うことで、市民のチームへの参画推進や、稼ぐ力の創出を目指す国の地方創生推進交付金を活用した3か年の事業です。また事業終了後は、チームが小山市の魅力発信の拠点・中心となり、自立した活動ができることを目指すものです。

問 住宅確保給付金給付事業の現在までの申請件数と今後の申請見込み件数は。

答 例年、年間十数件の申請がありますが、今年度は新型コロナウイルス感染症による影響から、9月17日時点で115件の申請がありました。

今後も需要の拡大が見込まれるため、192件分を増額計上しました。

問 インフルエンザ予防接種費の助成対象となる年齢および助成額は。

答 助成対象は生後6か月から中学3年生までと妊婦の方で、13歳未満は接種2回分、13歳から中学3年生と妊婦の方は接種1回分を助成し、助成額は1回あたり最大2900円となります。

問 今年は新型コロナウイルス感染症に係る懸念もあるため、多くの方にインフルエンザの予防接種をしてほしいと思うが周知方法は。

答 インフルエンザ予防接種については、広報小山10月号および市ホームページに掲載します。また、妊婦の方には母子健康手帳交付時に案内を配布するとともに、各産婦人科の協力によるチラシ啓発をお願いしています。乳幼児に關しては、健診時のチラシ配布や保育園等を通じたチラシ配布を行い、小・中・義務教育学校生にもチラシを配布します。併せて、開運子育てナビへの情報掲載や各医療機関での啓発ポスターの掲示をお願いしていきます。

問 まちなか魅力磨き上げ推進事業の事業内容は。

答 本事業の取り組みには3つの柱があり、1つ目は、現在実施中の城山公園再整備で、明るく眺望のきく公園とするため、樹木の伐採等を行うところであり、これに合わせて公園への更なる集客を図る取り組みを行います。2つ目は、これまで思川の水辺活用として、ラフティングやSUPの社会実験等の支援を行うっており、今後はリバーサイドシアターの取り組みを進めます。3つ目は、祇園城通りでのテラスおやまの取り組みとして、祇園城通りへのベンチ設置やパークレットの利用など、街路空間の利活用を進めます。

決算審査



今回の委員会では、各部長等から主要事業等の説明を受けた後、令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定について、閉会中の継続審査とすることになりました。

※1 SUP(スタンドアップパドルボード)
浮力の大きいボードに乗り、パドルを漕いで移動し水辺を楽しんだり、ボード上でヨガ等をしたりする水上活動。

市政を問う

9月定例会市政一般質問

会派代表質問

(発言会派順に掲載、○印は
会派代表質問を行った議員)

自民未来塾

岡田	裕○関	良平
小川	亘 福田	洋一
篠崎	佳之 荒井	覚
福田	幸平 高橋	栄
渡邊	一郎	

質問項目 ①浅野市長の政治
姿勢・政治理念②市税③保健
福祉行政④都市行政

問 市長の市政方針について、
浅野市長の政治姿勢・政治理
念について伺う。

市長 4年間の任期で実現し
たい公約は4つです。まず、
速やかな財政再建については、
財政の危機的状況を脱却し市
の発展を目指していくため、
優先順位の高い事業は、従来
通り継続し、優先順位の低い
ものは、支出の削減を図り、
万一の事態があっても十分な

対応ができるように取り組ま
す。次に、市民が求める政
策の実現については、子育て
支援、充実した教育環境、文
化の振興、地元優先の経済、
就業環境の整備等、市民が安
心して小山で暮らしていくた
めに必要な政策を実現してい
きます。次に、田園環境都市
小山のまちづくりでは、魅力
ある田園環境都市小山に、小
山を愛する市民が生き生きと
暮らし、いつまでもすばらし
い環境を守っていくことを将
来ビジョンとして持続可能な
まちづくりを進めていきます。
最後に、徹底した市民との対
話と連携については、市政状
況を正確に市民が把握できる
よう情報公開するとともに、
市民フォーラムの開催や市職
員が市長に発言できる職場環
境にすることに、市民の
声を市政に反映させるととも
に、職員の力が発揮できる環
境を整えていきます。

また、議会と適度な緊張関
係を持ちながら議論を尽くし、
対等な関係で市民のために構
築する市政に努めます。さら
に、栃木県、栃木県議会、周
辺市町との連携を強化すると
ともに、民間活力を最大限に
生かし、新たに生まれ変わっ
た小山を実現したいと考えて
います。

問 令和3年度の法人・個人
市民税の見直しについて伺う。

副市長 令和3年度の市税収
納の見直しは、新型コロナウイルス
イルス感染症の経済活動への
影響により大変厳しい状況に
なると予想しています。シン
クタンクの経済予測等を参考
に試算すると、法人市民税の
調定額は税率変更の影響も
あり、令和2年度調定見込
額の28億4400万円から
26・9%減の20億8000万
円、個人市民税の調定額は
令和2年度当初調定額の
94億1000円から5・9%
減の88億5000円と見込
んでいますが、令和3年度予算
編成過程でさらに精査してい
きます。

市政会

渡辺	一男	安藤	良子
大出	ハマ	植村	一
○小林	英恵	橋本	守行
嶋田	積男	細野	大樹

質問項目 ①市長の政策方針
②都市計画行政③新型コロナウイルス
ウイルス感染症対策

問 これまで50万中核都市を
目指してきた小山市であるが、
他市町との連携について市長
の考えを問う。

市長 経済生活圏をともにし
歴史文化的にも密接な関係を
有する近隣市町と互いの強み
を生かし、克服すべき課題を
補足し合い、地域の活性化や
住民サービスの向上を図る等、
今後とも周辺市町との連携を
強化することにより、行政区
域の垣根を越えた広域的な連
携関係を深化させ、50万規模
の圏域の構築を目指してい
きたいと考えています。

問 間々田八幡公園整備は都
市再生整備計画に位置付けら
れているが、じゃがまいた会
館についてはどのように考え
ているか。

総合政策部長 小山市では、
じゃがまいた会館の整備に向
けて基本構想の作成を進めて
いますが、作成にあたっては

地域の代表者等を委員とする
検討会の意見を伺いながら進
めていきたいと考えています。
今後、社会資本整備総合交付
金都市構造再編集中支援事業
「間々田駅周辺地区第3期」
により推進し、令和5年度竣
工、令和6年度開館を目標に
令和3年度から基本計画策定
業務等を進めていきます。

市民派21

○山野井 孝 石島 政己
塚原 俊夫 青木美智子

質問項目 ①市長の政治姿勢
②新型コロナウイルス関連

問 現在策定中の第8次小山
市総合計画の見直しについて、
市長の考えをどのように反映
していくのか伺いたい。

副市長 総合計画基本構想の
核となるまちづくりの基本理
念に、市長の政治理念である
4つの市政運営の基本を盛り



込むとともに、第7次総合計画で10に分かれていた街づくりの目標を、平成26年策定の小山市長期ビジョンの基本目標に合わせ再構築した案に見直していきます。

問 市長選の公約であった財政再建について、財政調整基金の積み増し等に対する市長の考え方を伺う。

市長 財政調整基金については、他市の状況および近年の大規模災害の発生等を踏まえ、標準財政規模の10%から20%、30億円から60億円を目標に早急に積み増しすることとし、市債については、令和元年度を始期とする5か年の第3期市債管理計画に基づき、市債残高の適正な管理に努めていきます。

公明党議員会

○荒川美代子 佐藤 忠博
大平 拓史

質問項目 ①市長の政治姿勢
②新しい生活様式

問 SDGs（持続可能な開発目標）を市民に啓発するために、アイコンの見える化が必要だと思うが、市の考えは
総合政策部長 SDGsの市民への啓発として、『広報小山』令和2年8月号から令和

3年5月号までの10回にわたり、17の目標の解説や簡単に取り組める事例の紹介の連載を始めています。また、SDGsが掲げる目標は、小山市を取り巻く課題と共通するものも多いことから、小山市総合計画等の策定・改定にあたっては、各施策・事業とSDGsの目標との関連を整理し、各目標のアイコンを表示するなど、SDGsと一体的に取り組む市の施策の目標を、わかりやすく市民と共有できるように取り組んでいます。さらに、市主催のイベント等におけるポスターやチラシ等において、関連するSDGsの目標アイコンを表示し、その取り組みがSDGsのどの目標につながるのか一目でわかるような取り組みを全庁的に進め、さらなる周知啓発を図ります。

問 コロナ禍で増える児童虐待防止対策のために相談体制を強化すべきと思うが、市の考えは。

保健福祉部長 子育てに悩みを持つ家庭を支援するための相談業務と、児童虐待通告の窓口を、これまで家庭相談員3名体制で対応してきましたが、令和2年9月から1名増員し対応しています。また、

平成28年の児童福祉法改正により、市町村は児童虐待に関する支援を一体的に担う拠点の整備に努めることとされたため、子どもとその家庭等を対象に専門的な相談や必要な調査・訪問等による継続的な支援を担う子ども家庭総合支援拠点を令和3年度の新庁舎開庁に合わせて整備します。

おやま創生会

苅部 勉 ○森田 晃吉
土方 美代

質問項目 ①市長の政治姿勢
②新型コロナウイルス対策
③鳥獣対策
④公営ドッグラン

問 イノシシの減少に向けた具体的対策について問う。

産業観光部長 猟友会の協力を得て箱わなの設置数を増やしており、現在27基設置しています。また、イノシシが繁殖しにくい環境を作るため、被害の多い16地区で有害鳥獣被害対策協議会を設置し、やぶの草刈りなどの環境整備を実施していただいているとともに、主な生息域である思川北部河川敷についても、県と地元との協力のもと、令和元年

度に大規模な環境整備を実施していただきました。

問 公営のドッグラン整備について市の考えは。

都市整備部長 ドッグランを公園に設置し、マナー教室やしつけ教室等を開催することにより、飼い主のマナー向上につながるといったメリットが考えられます。一方で、設置には必要面積の確保、周辺住民のご理解、設置後の管理体制などの課題があるほか、公園内への設置を考えた場合、公園愛護里親会からはマナーなどの問題による否定的な意見が多いという実態もあるため、慎重な検討が必要と考えています。

個人質問（発言順に掲載）

安藤 良子 議員

質問項目 ①小山市男女共同参画社会の推進
②小中学校での感染症対応
③新庁舎移転に伴う保健福祉センターの活用

問 新型コロナウイルス感染症対応で、教育の不平等や差を広げないよう努めている教職員について、通常業務への圧迫を防ぐための今後の対応策は。

教育長 現在、新たな生活様

式に順応した学校づくりに取り組んでいます。様々な感染症対策業務が教職員の本来の業務を圧迫しています。そこで、このような教職員の負担を軽減できるような、特別支援教育サポーター、心の教育相談員、消毒作業員、学習指導員等の人材の追加配置を行っています。今後も、家庭や地域社会のご理解、ご協力を得ながら、児童生徒への対応を第一に考え、教職員の勤務状況の改善に努めていきます。

高橋 栄 議員

質問項目 ①市長のまちづくり活動に対する考え方
②コロナ禍における水害時の避難場所

問 「小山市地区まちづくり活動」について、多くの方から継続してほしいという声がある。継続について、市長の考え方を伺いたい。

都市整備部長 市民と行政との協働のまちづくりについては、市民の求める政策の実現を目指す上で重要な取り組みであると認識しており、これまでと同様継続して取り組んでいきます。

平野 正敏 議員

質問項目 ①コロナ感染症対策②市街地再開発事業

問 福岡市が行なっている、接触確認アプリ登録者に対するインフルエンザ予防接種費用の助成事業について、市の考えは。

保健福祉部長 福岡市では、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の利用拡大につなげるため、生後6か月から高校3年生および65歳以上の市民の方で「COCOA」を導入した方を対象として、インフルエンザ予防接種の助成を行うと報道されました。このような動機付けは効果的であると考えられることから、小山市でも予防接種率向上と「COCOA」導入者増加のため、開運おやま健康マイレージの対象事業にインフルエンザ予防接種および「COCOA」導入を加え、ポイントを付与することを検討します。

渡邊 一郎 議員

質問項目 ①令和元年度一般会計決算②乙女中学区の中小一貫校

問 乙女中学区の中小一貫校

の考え方について問う。

教育部長 乙女中学区の下生井小および網戸小は特に児童数が少なく、現在小規模特認校となつていますが、平成25年度に策定された小山市学校適正配置等に関する提言書にある適正規模化の実現に向けた検討案として、2校に乙女小をあわせた小学校3校の統合と、乙女中との中小一貫校化が望ましいとされています。一方、小規模校は独自の特色や価値を有しており、地域に愛される学校となつていくことも事実です。事業を進めるうえでは、これらの両面から市や地域、子どもたちにとって最適な方策を導けるよう検討していくことが重要と考えられています。

議会日誌

- 〔7月〕 会派代表者会議
〔8月〕 市執行部との定例懇談会／会派代表者会議／議会運営委員会
〔9月〕 議会広報委員会
〔10月〕 議会広報委員会／議員説明会／会派代表者会議

- ▽21日 公共施設等整備調査
▽12日 議会運営委員会／議会運営検討専門部会
▽21日 議員説明会

次回定例会の予定

Table with 2 columns: Date and Meeting Content. Includes dates from 11月30日 to 12月23日 and meeting types like '本会議(開会・議案上程)', '委員会', '本会議(一般質問)', '本会議(採決・閉会)'.

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

本会議はインターネットでご覧になれます。

市議会本会議のインターネット中継・録画配信をおこなっています。ぜひご利用ください。

(小山市議会ホームページからリンクしています。) http://www.oyama-city.stream.jfit.co.jp/

議場見学

〔10月〕 9日 網戸小・下生井小12名



人類の歴史を振り返れば、自然災害や人と人との争い、そして目に見えないウイルスや菌といった感染症との戦いでした。それでも人間はその都度英知を絞り出し、幾度も乗り越え、さらに文明を発展させてきました。それは、その時その時の人々が考えることをあきらめなかったことにほかなりません。今の世の中は昔と違い情報があふれています。何が正しくて何が間違っているのか判断できず、そのうち疲れ果て、考えることをあきらめてしまいたくなる時もあります。それでも、一人ひとりが良心に基づき、今自分にできることは何なのかを考え行動に移したとき、きっとその先には輝かしい未来が待っている。私は信じています。

(土方)